

「433MHz帯タイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリーに係る技術的条件」の検討開始について

1

1. 検討の背景

- ✓タイヤ空気圧モニタ（TPMS:Tire Pressure Monitoring System）及びリモートキーレスエントリー（RKE : Remote Keyless Entry）は、我が国においては、平成19年に、315MHz帯を使用し、免許を要しない無線局（特定小電力無線局）として導入されているところである。
- ✓一方、国際的には433MHz帯を使用した同システムの普及が進んでおり、国際的な周波数協調を見据え、新たな周波数の利用が求められている状況である。
- ✓このような状況を踏まえ、433MHz帯を使用するタイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリーの技術的条件について検討を行う。

諸外国におけるTPMS・RKEの利用周波数

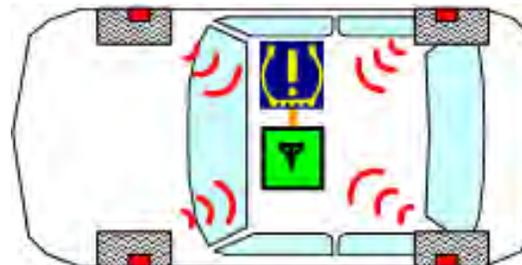
国	315MHz	433MHz
日本	○	×
中国	○	◎
韓国	×	○
米国	○	◎
EU	×	○

※◎は、主に利用されている周波数帯

タイヤ空気圧モニタシステム (TPMS)



タイヤの空気圧を運転席で確認でき、事前にタイヤの異常を把握できる



リモートキーレスエントリー (RKE)

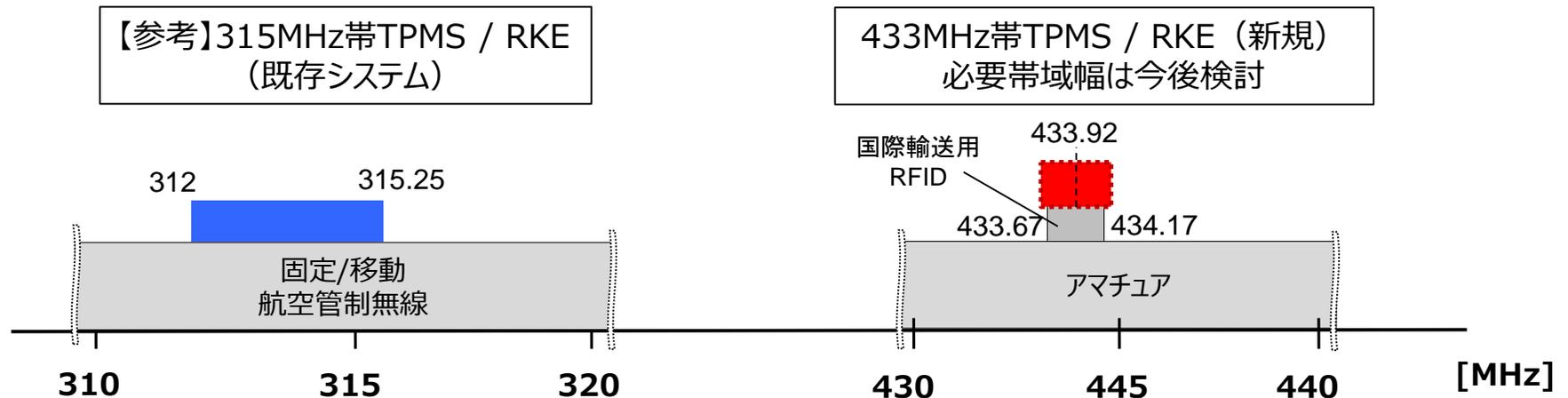


- ・ドアロックの開閉
- ・エンジンスタート
- ・ホーン/ヘッドライト等の操作



2. 主な検討項目

- ① 433MHz帯を使用する既存無線システム（アマチュア無線、国際輸送用RFID）との共用検討
1体1正対モデル、アンテナ高低差など実際の運用を考慮したモデル、確率的評価モデル等で検討を実施し、必要に応じて実機により影響を確認する。



- ② 433MHz帯タイヤ空気圧モニタ及びリモートキーレスエントリーの技術的条件の検討
変調方式、占有周波数帯幅、空中線電力 等

3. 検討スケジュール

- ・令和5年5月～ 小電力システム作業班【主任：児玉俊介（電波産業会）】及びTPMS・RKEシステムアドホックグループ【グループリーダー：阪口啓（東京工業大学）】において検討 → 詳細な検討はアドホックグループで実施
- ・令和5年12月頃 技術的条件案のとりまとめ

小電力システム作業班の運営方針

1 作業班の構成

- (1) 作業班は、陸上無線通信委員会（以下「委員会」という。）主査から指名された者により構成される。
- (2) 作業班に主任を置き、委員会主査から指名された者がこれに当たる。
- (3) 作業班に主任代理を置くことができ、主任が指名する者がこれに当たる。

2 作業班の運営

- (1) 主任は、作業班の調査及び議事を掌握する。
- (2) 主任代理は、主任不在の時、その職務を代行する。
- (3) 作業班は、主任が招集する。主任は、作業班を招集する際は、構成員にあらかじめ日時、場所及び議題を通知する。
- (4) 主任は、構成員に調査の協力を求めることができる。
- (5) 主任は、必要があると認めるときは、作業班に、必要と認める者の出席を求め、意見を述べさせ又は説明させることができる。
- (6) その他、作業班の運営については、主任が定めるところによる。

3 会議及び資料の公開

会議及び資料は、次の場合を除いて原則公開する。

- (1) 会議及び資料を公開することにより、当事者又は第三者の権利、利益及び公共の利益を害するおそれがある場合
- (2) その他、主任が非公開とすることを必要と認めた場合

4 アドホックグループの構成及び運営

- (1) 主任は、作業班で調査する事項について、特に専門的な調査を行う必要があると認めるときは、アドホックグループ（以下「AHG」という。）を置くことができる。
- (2) AHGは、主任が指名する者により構成される。
- (3) AHGにリーダーを置き、主任が指名する者がこれに当たる。
- (4) その他、AHGの運営については、リーダーが定めるところによる。

5 事務局

事務局は、総合通信基盤局電波部移動通信課がこれに当たる。